



団地TOPICS

さまざまな団地で行われた
イベント活動をお知らせします。

vol.3

駅尊寺第二(大阪府枚方市)
暮らしのファッション詩情

団地テナント 気になろお店

お客様のニーズにとことん応える衣料店

6月24日にグランドオープンした総合衣料店。明るく広い店内には婦人服を中心に紳士服からインテリア雑貨、日用品まで数多くの品が並びます。『地域密着型』が会社のコンセプト。高齢の方が多い団地住民のニーズに応えるため、洗剤などの生活雑貨のスペースを広くとっているのが特徴です」と話すのは店長の岩野奈美さん。スタッフは岩野さんを含めて7人。明るく元気なあいさつと、お客様にしっかり伝わる優しい接客を心がけているそうです。

オープンから約1か月。何でも売っているで、お客様からは「楽しいお店」という声もある一方、「食料品も置いてくれたら…」というリクエストをいただくことも。「お客様のニーズにどれだけ柔軟に応えられるかがこれからの課題」と岩野さんは話します。



① ピンクの看板が目印 ② 婦人服から肌着、靴下など膨大な数の衣料品が並び店内 ③ 充実した日用雑貨が自慢です

SHOP DATA

★ 大阪府枚方市駅尊寺町25-31 駅尊寺第二団地31号棟102

☎ 072-852-2077

🕒 10:00～19:00 ㊦ 年始

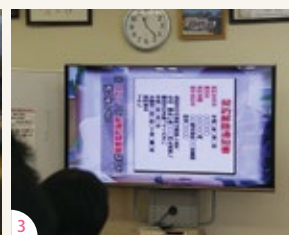
📍 アクセス：京阪交野線「村野」・「郡津」駅から徒歩約15分
または京阪本線「枚方市」駅から京阪バス約15分「駅尊寺団地」下車徒歩約1分



5月20日、シティコー
ト下新庄集会所で団地
自治会と東淀川区地域
包括支援センターの共
催による講座「悪質商法
の被害に遭わないため
に」が開催されました。
安心できる生活を守る
ため、大阪市消費者セン
ターから寺島眞実子さ
んをお招きし、今も多く
発生している詐欺の実態を学びました。



「大阪はオレオレ詐欺の被害が少なく、還付金詐欺は多い。お金をもらえると聞くと、ころりとやられてしまう」という寺島さんの軽妙なお話に会場は笑いの渦に。その後、さまざまなパターンの詐欺が紹介され、「昔は着物の訪問購入が多かったが、今は靴の訪問購入が流行」と今のトレンドの話に及ぶと「うちにも来た」「靴の電話がかかってきた」という声が多く上がりました。「知らない人の電話や訪問には出ないでください」との寺島さんのアドバイスに、会場の参加者は真剣に聞き入っていました。



1. ビデオを上映しながら、具体的な詐欺の手口を紹介 2. メモをとりながら講師の話に熱心に聞き入る参加者 3. クーリングオフの詳しい方法も解説 4. 講師を務めた「くらしナビゲーター」寺島眞実子さん

5月27日、今津浜パー
クタウン団地集会所
で、多世代交流および
多文化共生支援を兼ね
たイベント「手打ちさ
ぬきうどん教室」を開
催しました。当日参加
した住民28人のうち、
ベトナム人留学生は通
訳スタッフのサポートを受けながら受講していました。教室では、香川県大阪事務所の福島淳さん・中西正憲さんのご指導のもと、粉から生地をこね、麺切りまでを体験。足踏みの工程では、皆さん初めての体験に戸惑いながらも、コシのある麺に仕上げようと無心で生地を踏んでいる姿が印象的でした。完成後はぶっかけうどんの試食もあり、本場の味に舌鼓を打ちました。



参加者のフィ・ティ・タムさんは「生地を延ばすのにとても疲れました。作る大変さを知ったので、これからうどんは残さず全部食べようと思います」と、自分で作った麺を見せてくれました。自治会長の蒲池輝男さんは「家に帰ったらおいしく楽しく食べてほしい。これをきっかけに、今後も住民同士で交流を深められれば」と笑顔で話していました。

参加者のフィ・ティ・タムさんは「生地を延ばすのにとても疲れました。作る大変さを知ったので、これからうどんは残さず全部食べようと思います」と、自分で作った麺を見せてくれました。自治会長の蒲池輝男さんは「家に帰ったらおいしく楽しく食べてほしい。これをきっかけに、今後も住民同士で交流を深められれば」と笑顔で話していました。



1. 個性それぞれ！自分だけのうどんができました！ 2. 「足踏み」はかかとで踏むのがポイントです 3. 生地を延ばす麵棒にも力が入ります 4. 均等な太さで切るのは至難の業！



「ヘタでいい」「ぶっつけ本番」「お手本なし」
高齢者向け 絵手紙教室を開催
富雄(奈良市)

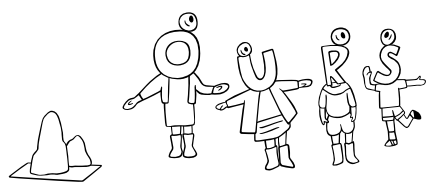


6月12日、富雄団地集会所で生活支援アドバイザー主催の「高齢者向け絵手紙教室」が開催されました。講師は団地集会所で15年近く絵手紙教室を主宰している(一社)日本絵手紙協会の山田雅子さん。「ヘタでいい、ヘタがいい」「ぶっつけ本番」「お手本なし」という絵手紙3つの心得について説明した後、筆の持ち方、線の描き方から練習が始まりました。20人の参加者はほぼ全員が初心者。「筆を持つなんて何年ぶりかしら」「太くなったり、細くなったり。線を描くだけでも難しい」と苦戦しながらも、スタッフのサポートを受けながらトマトや紙風船をモチーフにした絵手紙を仕上げました。作品完成後は描いた絵手紙の中から各自「自信の1枚」を選び、山田さんによる合評へ。『モチーフをよく見て描かれています』『のびのびとした絵から、元気が伝わってきます』といった講評に、参加者は興味津々の様子で耳を傾けていました。

高齢者向けの教室を初めて企画した生活支援アドバイザーの小川千紗さんは「興味を持っていただきやすいテーマとして絵手紙を取り上げました。参加者の皆さんにも楽しんでいただけたようですし、今後もさまざまな講座を通してより一層交流を深めていきたい」と話していました。



1. 講師の山田雅子さん 2. モチーフをしっかりと観察しながら 3. 個性豊かな作品がそろいました 4. 生活支援アドバイザーから、URのあんしんコールも紹介されました



暮らしの貸し借りを再発見するウェブマガジン

OURS.
KARIGURASHI MAGAZINE

貸すこと、借りること
暮らしにつらなる、さまざまな物語

Webで公開中

カリゲラシTV

movie

賃貸住宅で繰り広げられる百人百様の生活を写真家や映画監督らが訪ねて、さまざまな動画にまとめます。

7DAYS
SCENE

photo/sketch

気鋭の写真家やイラストレーターらと団地で撮影＆スケッチ。思いがけない団地の姿に出会えるかも。ほぼ毎日更新中。

カリゲラシ
コレクション
Mr. Collection

our room

「どんな部屋でどのように暮らしているのか」いろいろなタイプの賃貸住宅に住む女性の部屋をセルフ撮影で拝見。

THE
BORROWERS

interview

多彩に活躍する方々へのインタビューを通して、借り暮らし、貸し借り、賃貸にひそむ可能性や魅力に迫ります。

ダンチ
ログ

danchi log

UR職員による「グルメD」や、団地のイロハを伝える連載「週刊4.5量」など、さまざまな角度からダンチに迫ります。

カリグラシコラム。

essay

普段の暮らしでモヤモヤすることなど、借り暮らしにまつわる意見や考えを、さまざまな人たちが自由なスタイルで綴ります。

観察
と歩

walking&watching

デザイナーやアーティスト、建築家など独自のまなざしを持つ方々と町を歩きます。その観察眼が向く先に注目。

文化の
小窓

culture review

借り暮らしや賃貸住宅にまつわる映画や本、漫画などのライブラリーを編集部を設置。それらを貸し出での感想文も掲載。



コミュニティニュース

洛西ニュータウン
(京都市西京区)

困った人と助けたい人をつなぐ「おたすけっ洛西」

洛西ニュータウンで今年4月から「おたすけっ洛西」が始まりました。高齢や障害によってサポートが必要な方のちょっとした困りごとを、ご近所さんがサポートする新サービスです。洛西サービスセンター内にある事務局が利用者の困りごとを聞き取りし、内容に応じて「すけっとさん」と呼ばれる登録ボランティアに依頼。事務局スタッフとすけっとさんと利用者の元を訪れ、簡単な作業や清掃・粗大ごみの搬出、おつかいなどをサポートします。

洛西センタープラザに住む仲田道子さんは、ゴーヤのグリーンカーテンの棚づくりでサービスを利用した一人。『数年前からグリーンカーテンを作っていますが、転倒して骨折したという人の話を聞いて、脚立に立つのが怖くなった』ことから、「おたすけっ洛西」に依頼しました。事務局の齋藤壽保さんとともに仲田さん宅を訪れたのは、同じ洛西ニュータウンに住むすけっとの黒木紀夫さんです。「自分ができるうちは人の助けになりたい」という黒木さんが、廃材などを利用し、内容に応じて「すけっとさん」と呼ばれる登録ボランティアに依頼。事務局スタッフとすけっとさんと利用者の元を訪れ、簡単な作業や清掃・粗大ごみの搬出、おつかいなどをサポートします。

たエコな棚をわずか1時間ほどで完成させました。「素晴らしい棚ができました。また黒木さんに頼みたいです」と話す仲田さん。サービスから新しい支え合いの輪が広がっています。



① 日に日に伸びゆくゴーヤの前で「事務局の齋藤さんが丁寧に話を聞いてくれたので、安心してお任せできました」と話す仲田さん(写真右)。齋藤さん(写真左)は「日常生活の困りごとを一人で抱え込まず、まずは事務局にご相談ください」と呼びかけます。② ボランティアのすけっとの皆さん。自分たちで住みよい町にしたい、という熱い思いを持つ人が多く登録しています。

ご相談はお気軽に075-335-3522まで
※利用は洛西ニュータウン6団地の方のみが対象です

団地に
歴史あり

掲載写真を募集します！

UR都市機構は1955年の「日本住宅公団」設立から、2015年に設立60周年を迎えました。今年度「まど」では、UR都市機構60年の歴史を、団地にお住まいのみなさんがお持ちの懐かしい写真とエピソードで振り返るコーナー「団地に歴史あり」を新設します。懐かしい風景、暮らしの場面など、あなたの思い出の写真をお寄せください。紙面に掲載させていただいた方にはクオカード(3,000円分)を進呈します。

詳しい応募方法は
7面をご覧ください。

